2007年3月期決算説明会

2007年5月22日

代表取締役社長　山　口　隆

あすか製薬株式会社

会社沿革

- 1920　創業者山口八十八、帝国社臓器薬研究所を横浜市南吉田町に創立
- 1945　社名を「帝国臓器製薬株式会社」と改称
- 1955　東京証券取引所に株式を上場
- 1980　いわき工場を福島県いわき市に新設
- 1981　「プロスタール錠25」を発売
- 1986　「アルタットカプセル75」を発売
- 1991　山口隆社長就任
- 1997　ドイツ・フランクフルトに国際駐在員事務所を開設
- 2000　創立80周年を迎える
- 2001　本社社屋を港区芝浦に新設

2005年10月1日グレラン製薬と合併、あすか製薬株式会社発足

2007年3月期連結決算の総括

増　収　増　益

- 売　上 高　　30,301百万円（前年同期比　 26.6%増）
- 営業利益　　2,019百万円（前年同期比　245.4%増）
- 経常利益　　2,075百万円（前年同期比　159.7%増）
- 当期純利益　　969百万円（前年同期比　105.6%増）

1．医療用医薬品リピディル、チラーヂン、アンジュなどの伸張により増収

2．利益面は販売費および一般管理費などの節減により増益

07年3月期実績

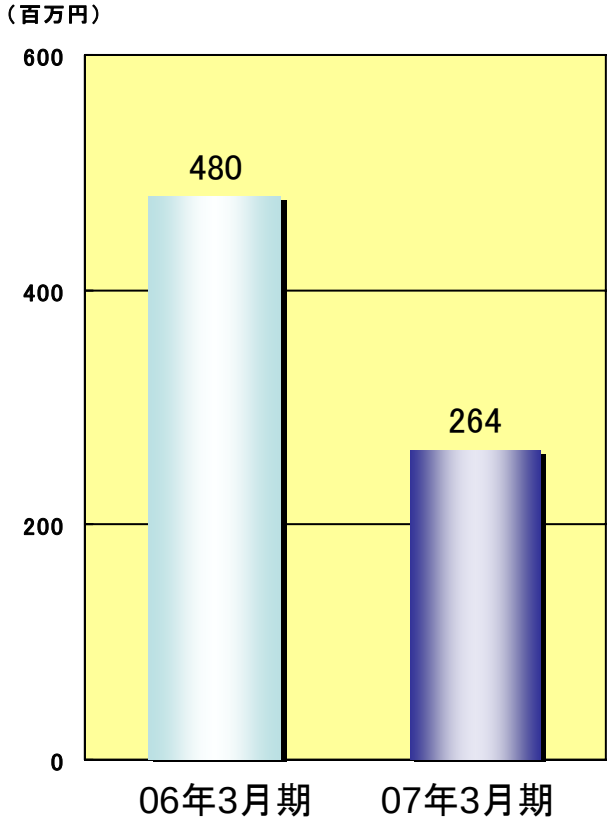
（金額単位：百万円）

	06年3月期 実績(参考)	07年3月期 実　績	前年比 増　減	備　考
売　上　高	28,542	30,301	1,759	〈増収要因〉 ・医療用医薬品 ＋2,334 （ﾘﾋﾟﾃﾞｨﾙ 796、ﾁﾗｰﾁﾞﾝ 569、ﾐﾘｶﾚｯﾄ 527、 マインベース290） 〈減収要因〉・工業所有権等 △307
売上原価	9,318	10,222	904	・売上原価率　＋ 1.1ポイント（32.6→33.7）
売上総利益	19,224	20,079	855	
販　管　費	18,428	18,060	△368	
営業利益	796	2,019	1,223	

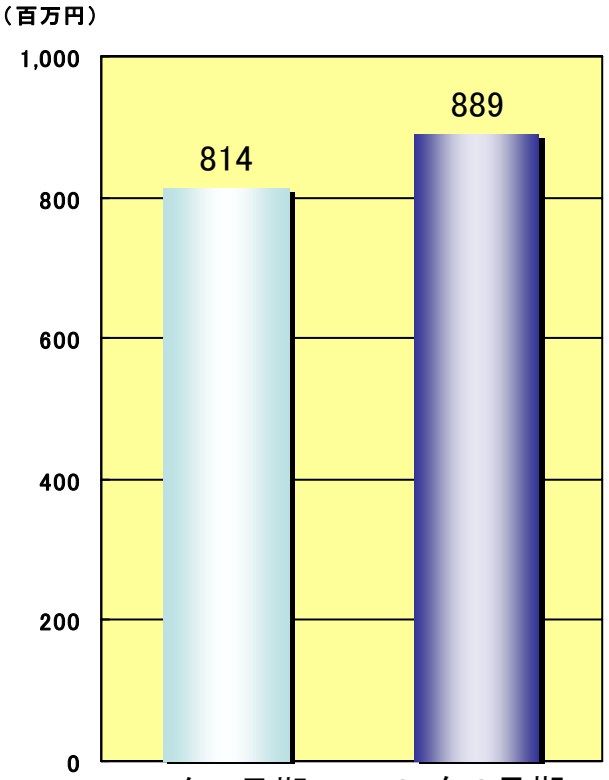
※ 06年3月期実績は、あすか製薬の実績に合併前の
グレラン製薬05年4-9月期実績を加算しております

設備投資等の概要

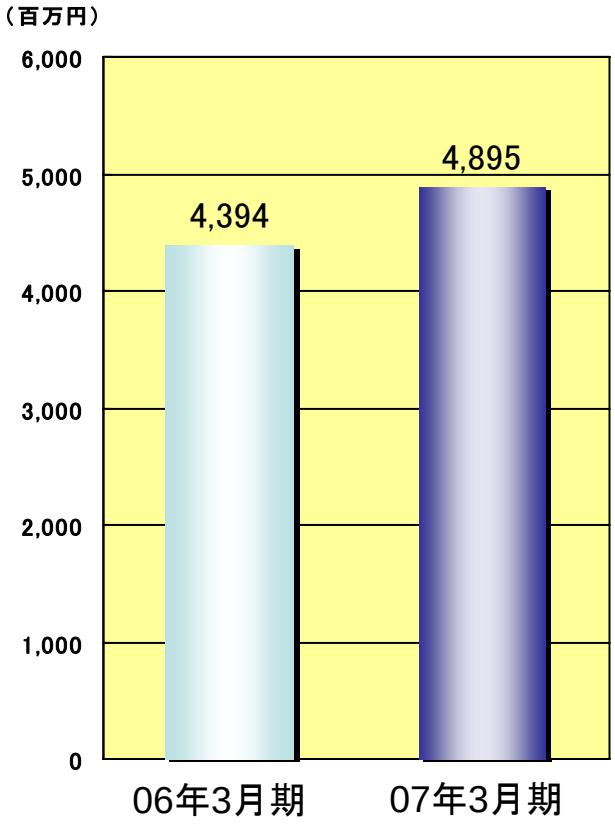
設備投資



減価償却費



研究開発費



連結貸借対照表の推移

（単位：百万円 ）

借　方				貸　方			
	06年3月末	07年3月末	増減		06年3月末	07年3月末	増減
流動資産	25,640	27,766	2,125	流動負債	10,691	11,823	1,131
固定資産	26,449	24,216	△2,232	固定負債	9,269	8,486	△783
資産合計	52,090	51,982	△107	負債合計	19,960	20,309	348
				純資産合計	32,129	31,673	△456

流動資産増因	：	売掛金	＋2,297	流動負債増因	：	未払法人税	＋693
固定資産減因	：	投資有価証券	△2,062	固定負債減因	：	長期借入金	△590

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	06年3月期	07年3月期	増　減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△458	1,361	1,820
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,233	1,294	△939
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,574	△1,658	2,916
現金及び現金同等物等の期末残高	7,812	8,810	998

事業別販売実績（連結）

（単位：百万円）

	06年3月期	07年3月期	構成比(%)	増減	前年比(%)
医療用医薬品	21,686	28,580	94.3	6,894	131.8
一般用医薬品	157	160	0.5	3	101.6
動物用医薬品	961	1,023	3.4	62	106.4
医療機器	78	67	0.2	△11	85.7
その他	1,045	471	1.6	△574	45.1
合計	23,927	30,301	100.0	6,374	126.6

主要製品売上高

（金額単位：百万円）

	領域	主効能	05年3月期	06年3月期	07年3月期		08年3月期	
			実　績	実　績	実　績	前年比(%)	予　想	前年比(%)
アルタット	内	胃･十二指腸潰瘍	5,616	4,721	4,129	87.5	4,050	98.1
リピディル	内	高脂血症	―	2,690	3,486	129.6	4,480	128.5
チラーヂン	内	甲状腺機能低下症	3,078	2,814	3,383	120.2	3,535	104.5
ラミアン	内	高脂血症	764	739	919	124.3	931	101.4
プロスタール	泌	前立腺肥大症･癌	5,169	4,553	4,591	100.8	4,373	95.2
ミクトノーム	泌	頻尿、尿失禁	―	276	346	125.0	423	122.5
リストリーム	泌	前立腺肥大症に伴う排尿障害	―	484	584	120.8	716	122.5
アンジュ	産	避　妊	679	756	931	123.1	997	107.1
HMG	産	下垂体性無月経の排卵誘発	236	249	433	173.9	859	198.3
ミリカレット	耳	アレルギー性鼻炎	―	―	527	―	550	104.2
マインベース	耳	一般感染症	―	―	290	―	567	195.7

※ 06年3月期実績は、あすか製薬の実績に合併前のグレラン製薬05年4-9月期実績を加算しております

内：内科　泌：泌尿器科　産：産婦人科　耳：耳鼻科

あすか製薬株式会社

経営ビジョンの概要



弊社の強み

- **創薬技術の蓄積**
- 専門性を生かせる得意領域を持つ
- 生活習慣病領域に主力製品を持つ
- **販売ルートを武田薬品に一本化**

あすか製薬の経営ビジョン（めざす企業像）

― 強い競争力のある
トップクラスの新薬開発型製薬企業 ―

- 売上規模 500億円以上の確立
- 攻めの経営で継続的な利益を創出
- 特定領域で継続的な新薬を創出
- 特定領域で強い営業力
- コスト競争力のある生産体制
- 堅固な財務基盤

経営ビジョン（5年間） ASKA2010

“飛躍に向けての足固め”　　*拡 大 発 展 期*

HARMONY
2006～2008年度

BRIDGE TO THE FUTURE
2009～2010年度

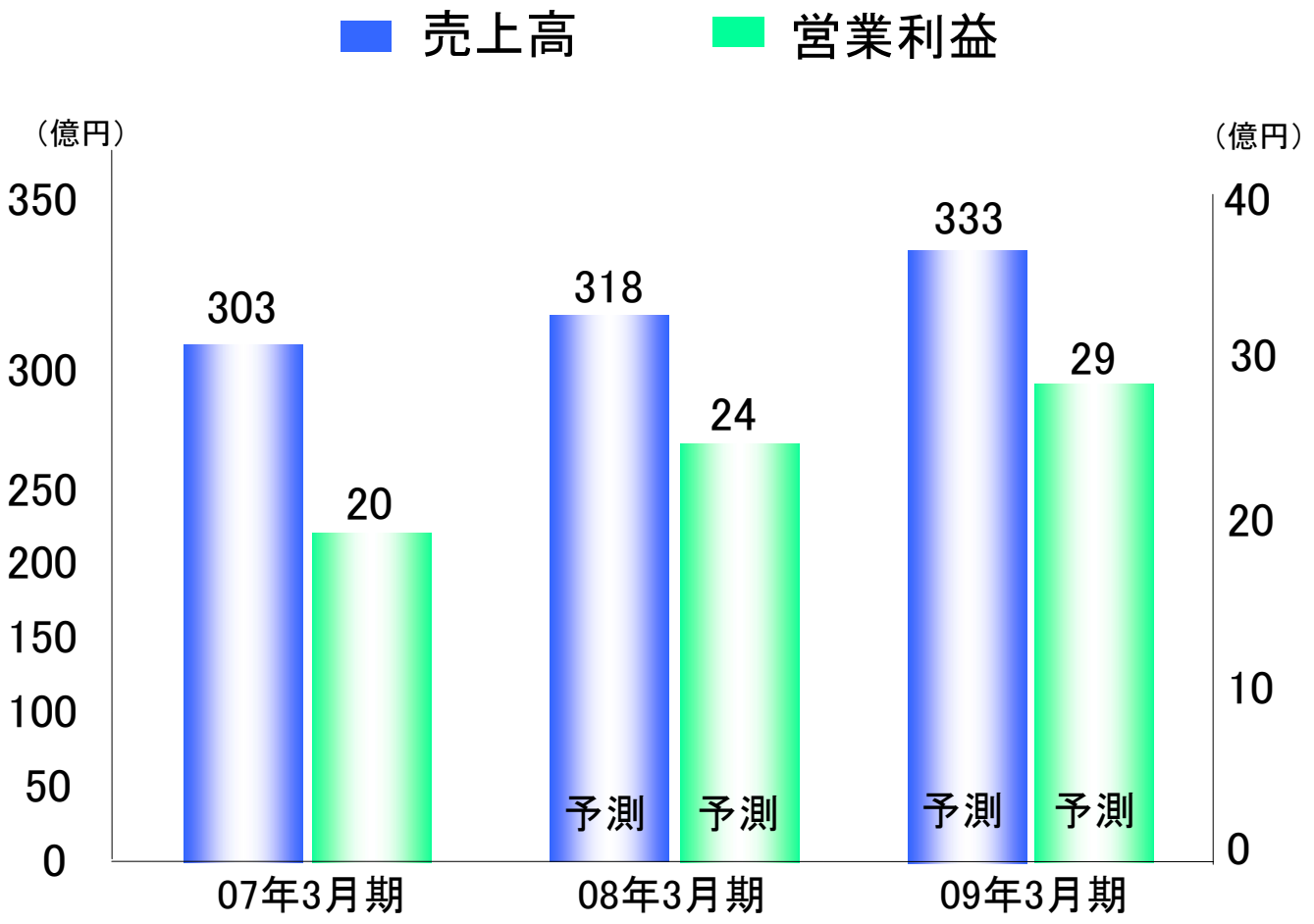
売上目標　333億円　　営業利益　　29億円

中期経営計画

“ASKA PLAN 06 -08”

〈生産性と競争力の向上〉

中期経営計画　売上・利益目標（連結）



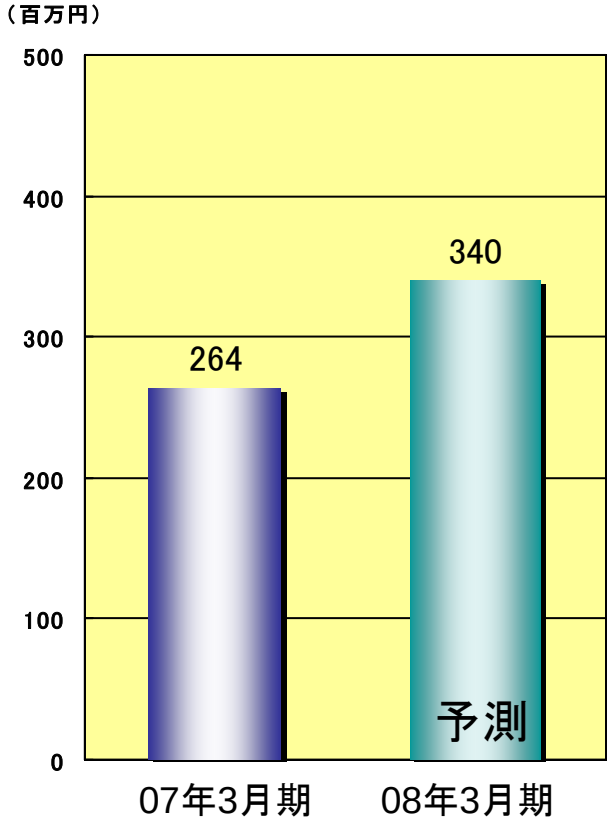
08年3月期計画

（金額単位：百万円）

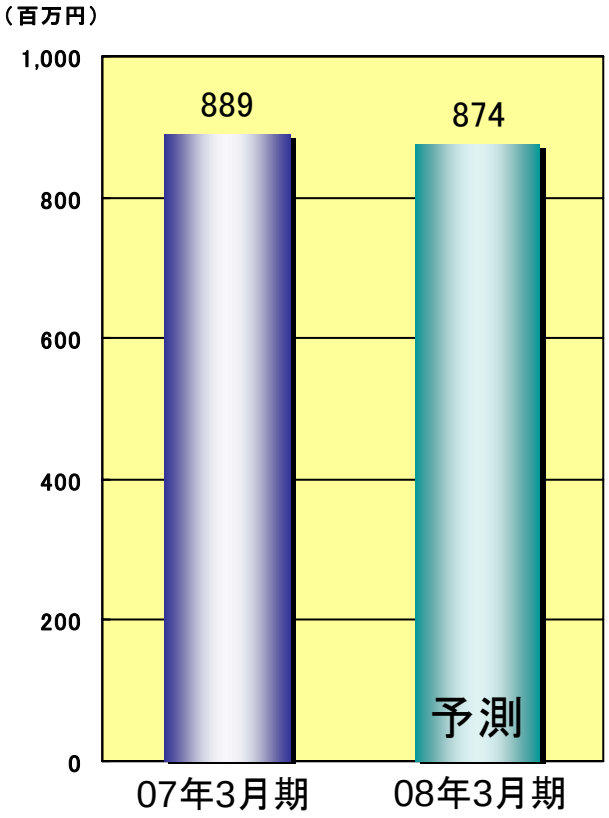
	07年3月期 実績	08年3月期 計画	前年比 増減	備考
売上高	30,301	31,800	1,499	〈増収要因〉 ・医療用医薬品 ＋1,412 （ﾘﾋﾟﾃﾞｨﾙ 987、HMG 426 、ｺﾞﾅﾋﾟｭｰﾙ 178） ・工業所有権等 ＋526 〈減収要因〉 ・診断薬事業譲渡 △570
売上原価	10,222	11,085	863	・売上原価率 ＋ 1.2ポイント（33.7→34.9）
売上総利益	20,079	20,715	636	
販管費	18,060	18,325	265	・研究開発費 ＋251
営業利益	2,019	2,390	371	

設備投資等の概要

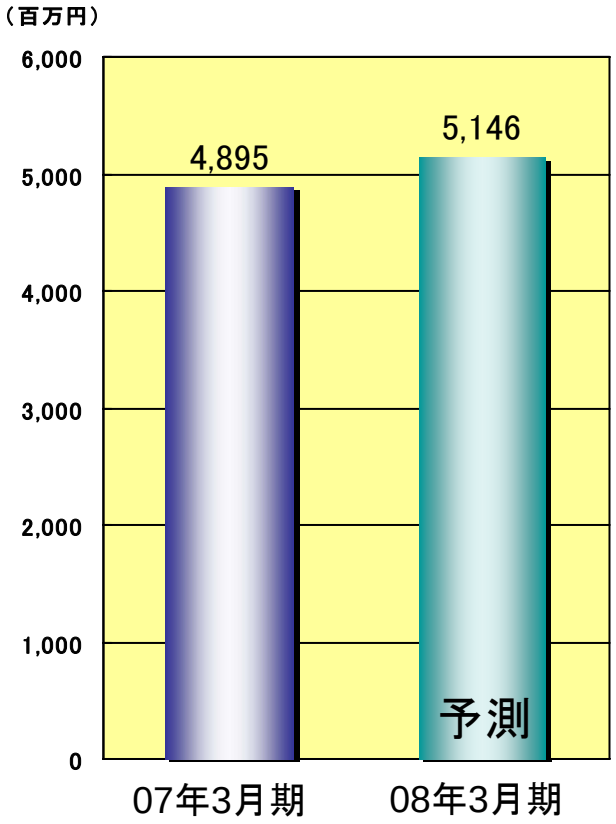
設備投資



減価償却費



研究開発費



研究開発

研　究　開　発

◆R&D総括

•自社開発品の確実なステージアップ

PhaseⅢ～申請段階	3品目
PhaseⅡ段階	5品目
PhaseⅠ～前臨床段階	2品目

•バイオ医薬品の国内開発と海外展開

完全無血清遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン

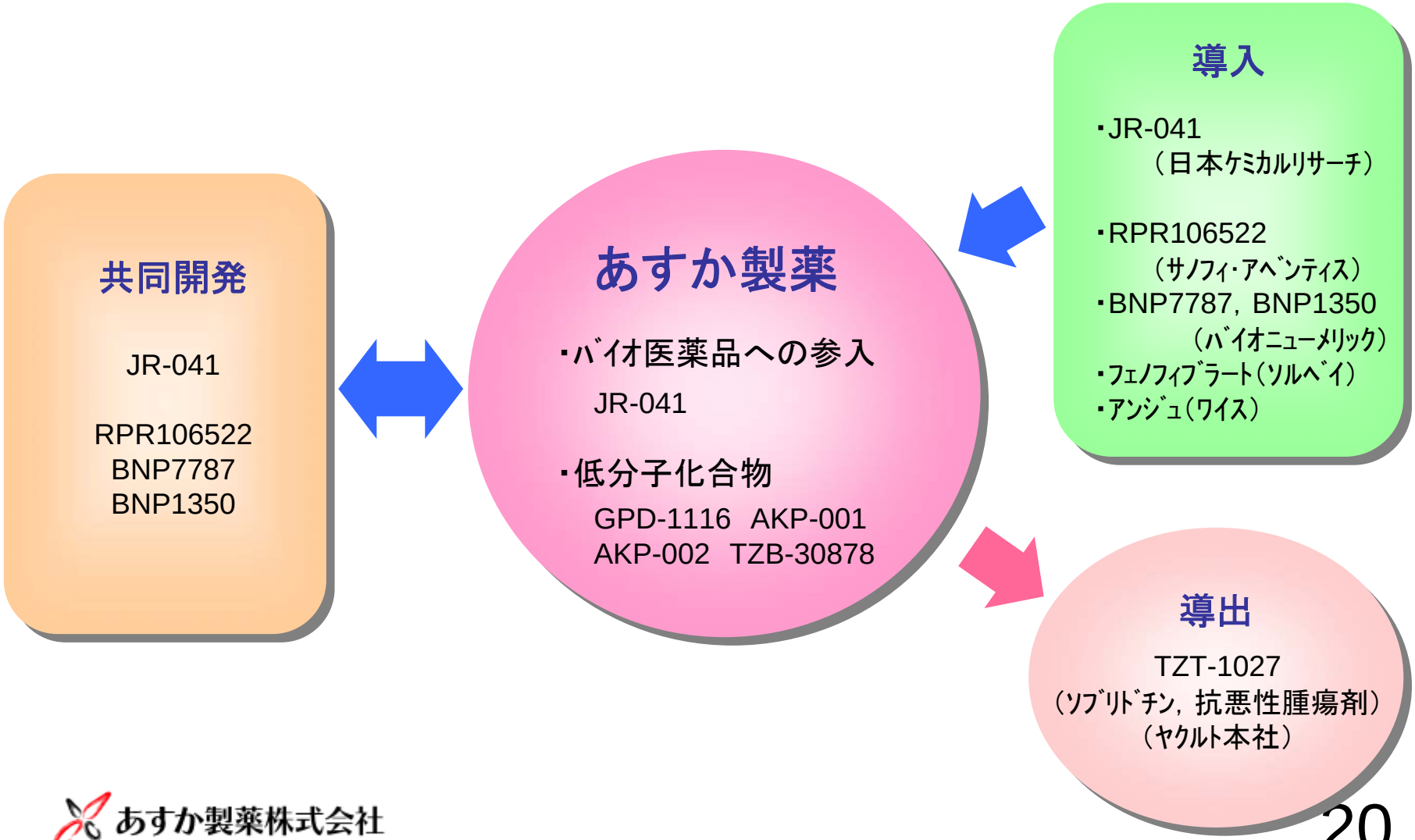
•ライフサイクルマネージメントの展開

リピディル（フェノフィブラート）新剤形

新 薬 開 発 状 況

開発段階	開発コード	起　源	適応症	特　長	上市時期
申請中	RPR106522	ヤクルト本社との共同開発 （サノフィ・アベンティスからの導入）	更年期障害	プロゲストーゲンを配合した貼付剤	2008年
第Ⅲ相	BNP7787	BioNumerik社より導入	抗悪性腫瘍剤（タキサン系及びプラチナ系）投与に伴う神経障害の発現抑制作用を有する薬剤		2010年
第Ⅰ相(国内) 第Ⅱ相（海外）	TZT-1027	自社開発 （ヤクルト本社導出）	固形癌	幅広い抗腫瘍スペクトラムを有する	未定
第Ⅰ相	GPD-1116	自社開発	喘息 慢性閉塞性肺疾患	PDE4選択的阻害を有する薬剤	2014年
第Ⅰ相 準備中	BNP1350	BioNumerik社より導入	悪性腫瘍	新規（消化器毒性の少ない）の経口カンプトテシン誘導体	未定
第Ⅰ相 準備中	AKP-001	自社開発	炎症性腸疾患	局所で作用して、全身的な副作用の少ない薬剤	未定

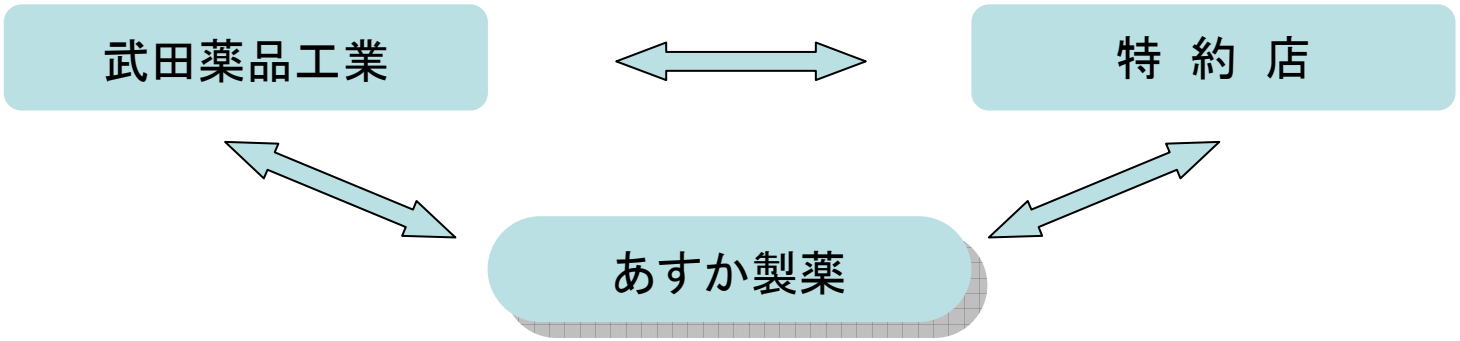
アライアンス


導入
・JR-041
（日本ケミカルリサーチ）
・RPR106522
（サノフィ・アベンティス）
・BNP7787，BNP1350
（バイオニューメリック）
・フェノフィブラート（ソルベイ）
・アンジュ（ワイス）
共同開発
JR-041
RPR106522
BNP7787
BNP1350
あすか製薬
・バイオ医薬品への参入
JR-041
・低分子化合物
GPD-1116　AKP-001
AKP-002　TZB-30878
導出
TZT-1027
（ソブリドチン，抗悪性腫瘍剤）
（ヤクルト本社）

営　業



営　業　戦　略



特定4領域（内科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻科）における質・量のバリューアップ

○ リピディル（高脂血症薬）の育成：エビデンスの確立

2005年11月発表（ｵｰｽﾄﾗﾘｱ、ﾌｨﾝﾗﾝﾄﾞ他）
大規模臨床試験「FIELD」
・Ⅱ型糖尿病10,000例

→

2007年上期発表予定
FIELDサブ解析
・メタボリックシンドロームへの効果

→

2010年発表予定（アメリカ、カナダ）
大規模臨床試験「ACCORD」
・スタチンとの併用による有用性の確認（約6,000例）

○ 産婦人科領域での製品投入（女性のreproductive healthに向けた製品化：思春期から老年期）

○ ニュータイプジェネリック製品の計画投入

あすか製薬は
女性のreproductive healthとQOLをサポートします。

初経 ↓ 10 ／ 結婚 ↓ 20 ／ 妊娠・出産 ↓ 30 ／ 閉経 ↓ 50

0 | 10 | 20 | 30 | 40 | 50 | 60 | 70

乳幼児・小児期 | 思春期 | 成熟期 | 更年期 | 老年期



●避妊→アンジュ

●無月経→オバホルモン、ソフィア、ルテジオン

●月経異常→ソフィア、ルテジオン

●月経周期の変更→新EP錠

●鉄欠乏性貧血→テツクール

●STD（クラミジア感染症）→マインベース

●不妊症→ゴナピュール、HMG注テイゾー、ゴナトロピン、セキソビット

●流・早産→ルテオニン

●分娩誘発・分娩後子宮出血→アトニン、メテナリン

●更年期障害→フェミエスト、ホーリン、
ボセルモン、サークレチン
※メノエイドパッチ（承認申請中）

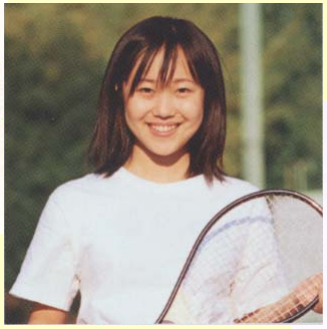
●尿失禁→ミクトノーム

●骨粗鬆症→ホーリン、カルシトラン、
ワークミン

●高脂血症→ラミアン、リピディル

●膣炎→ホーリン







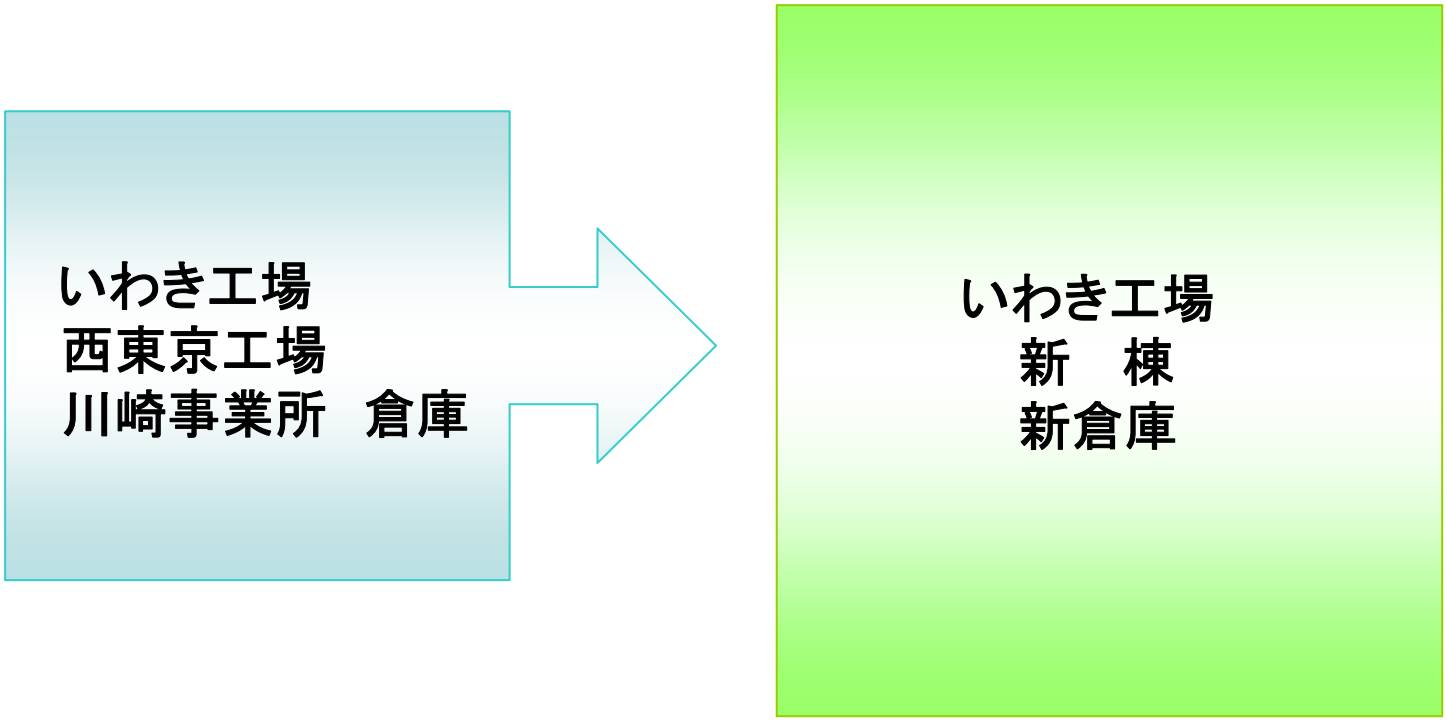
国際戦略



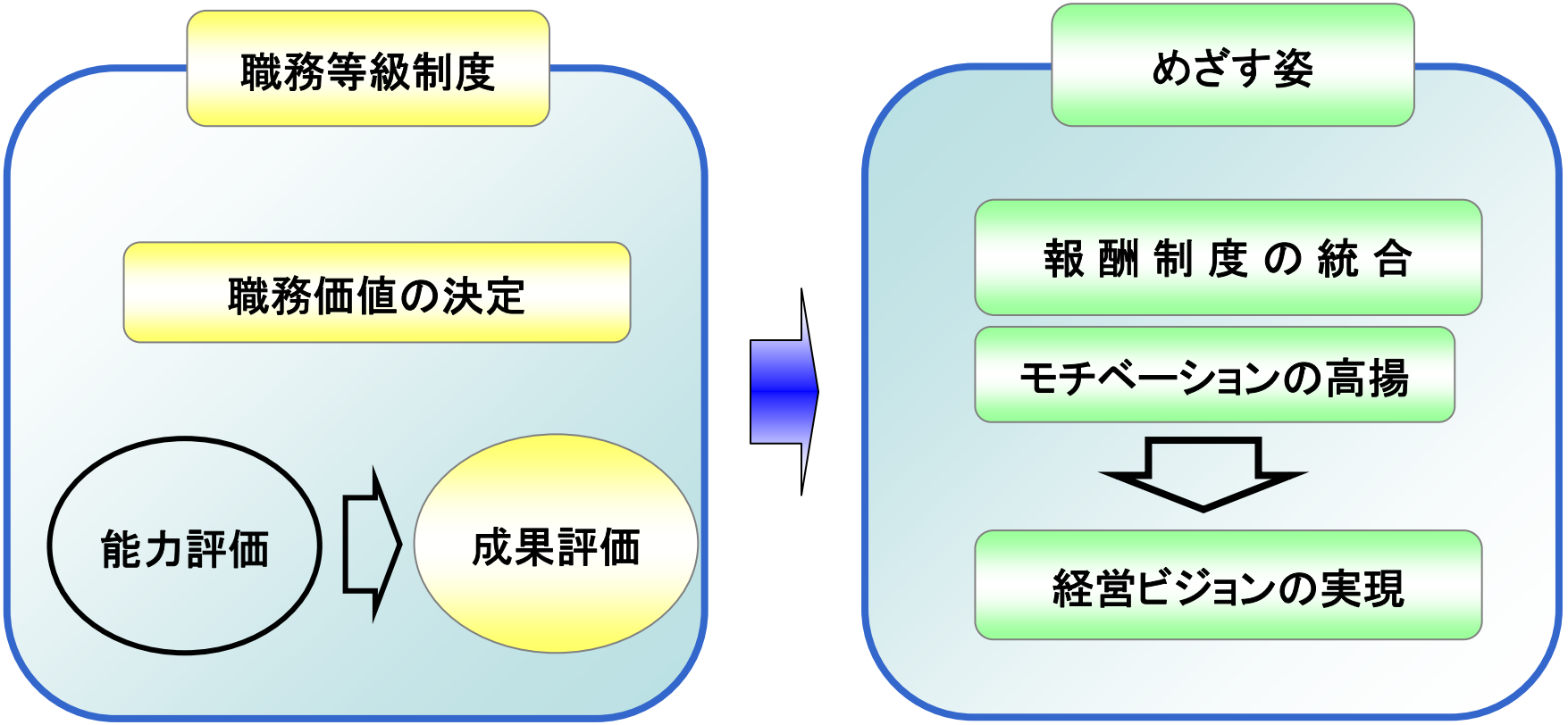
あすかの成功のために



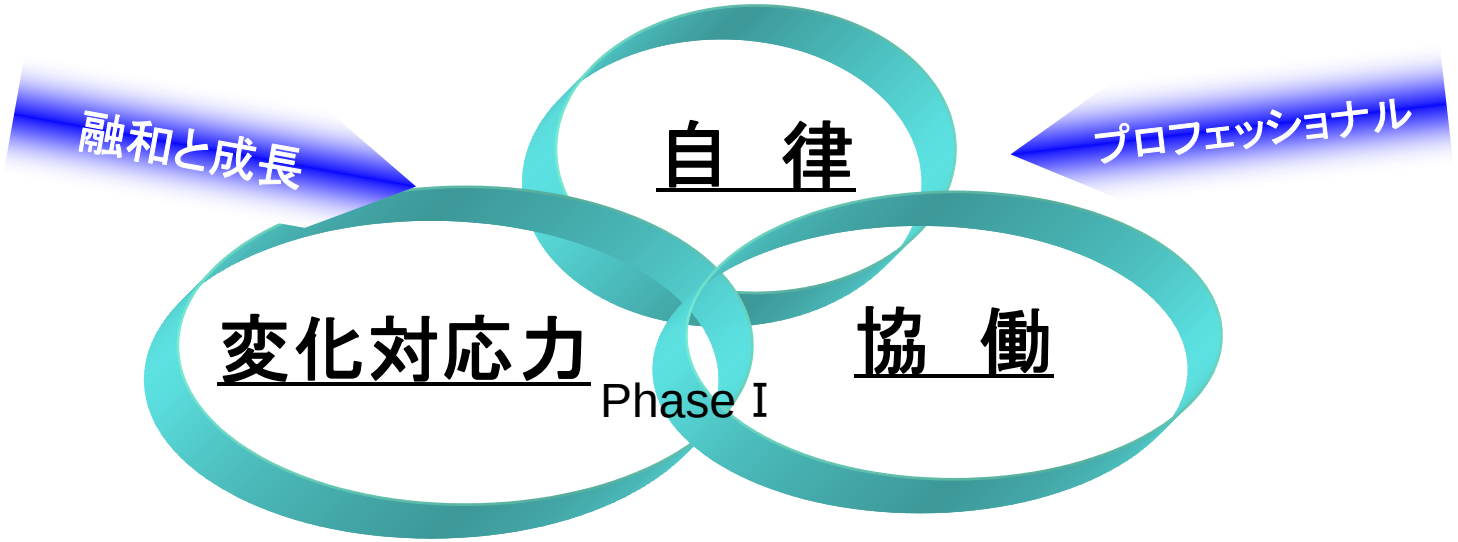
生　産　の　集　約



新人事制度の導入･定着


職務等級制度
職務価値の決定
能力評価
成果評価
めざす姿
報酬制度の統合
モチベーションの高揚
経営ビジョンの実現

人材の育成



人材開発育成　　経営ビジョンの実現

あすかユニバーシティ

株主還元について

配当方針

2007年3月期は、期末配当を2円増配の8円とし、中間配当金6円と合わせ年間14円といたします。

2008年3月期は、安定配当として年間配当金14円を実施してまいります。

また、今後は配当性向最大50%（単体）を目標としてまいります。

まとめ

・2007年3月期は順調に推移した。引き続き
　中期経営計画に沿って事業を進めていく。
・売上目標を達成させるためには、リピディルの
　売上伸張と新薬の早期の上市が不可欠である。
・同業他社との協力関係構築を目指すため、専門性を
　活かした取組みを積極的に進めていく。
・強い競争力のあるトップクラスの新薬開発型製薬企
　業を目指していく。

将来予測に関する注意事項

この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。

したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先

法務広報部

Tel　　：03-5484-8366

e-mail：komatsu-s@aska-pharma.co.jp

担当　：小松 哲